

国際公共政策研究科博士後期課程カリキュラムマップ

	高度な専門性と深い学識	教養	国際性	デザイン力	1年		2年		3年	
					春・夏学期	秋・冬学期	春・夏学期	秋・冬学期	春・夏学期	秋・冬学期
法律学・政治学・経済学における最先端かつ高度な専門的能力を身につけている。	○									
著者の問題意識、方法論、分析・論証及び結論が論理的に構築された博士論文が、①新規性、②継承性、③実証性、④論理性、⑤明確性を備えたうえで、専攻分野における高度の学術的価値を有している	○				<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <p>法律系 国際判例研究 国際環境法 武力紛争法 海洋法・航空宇宙法 国際経済関係の法と制度 ヨーロッパ人権保障体制 国際私法 国際公共政策のための法律学 現代私法論 環境法 比較憲法論 法政策学 法社会学 など</p> <p>政治系 国際関係論の理論と方法 比較政治システム論 紛争研究概論 平和構築論 国際行政論 多文化共生論 核兵器と国際関係 アメリカ外交論 アフリカの政治と紛争など</p> <p>経済系 Microeconomic Theory Macroeconomic Theory Econometric Methods I・II ミクロ経済分析I・II 経済数学 マクロ経済分析 労働経済学の実証分析 現代財政システム論 開発問題の計量分析 人材配置の経済学 行動経済学 経済学の理論と実証I・II 公共政策ワークショップI・IIなど</p> </div>					
独立した研究者として研究を遂行する学力・能力をもち、今後、一定水準の学術的価値をもつ論文その他の知的生産物を継続的に公表していくことができる	○									
法学、政治学、経済学以外の学問分野にも広く通暁し、それを高い次元で理解している	○									
様々な学問分野の知識とその理解を基盤とした高度な複眼的思考力を身につけている。	○									
世界の人とコミュニケーションする高度な能力を身につけている。			○							
各国の歴史・文化等に由来する多様な価値観を深く理解し、国際社会の一員として共生できる高度な能力を身につけている。			○							
自己の主張を明瞭・平明に記述し、明解なプレゼンテーションを行うことができ、また、専攻分野の研究者と対等に討論する能力を身につけている				○	応用・展開系科目			12月 進捗状況報告会	博士論文執筆 (12月口頭報告 審査会)	最終 試験
高度な学問的修練に基づいた分析手法の下に、公共利益の観点から国際的問題や日本の社会システムに関わる現実の問題に対して、解決のための政策提言をする能力を身につけている				○	総合安全保障 国連安保理研究ワークショップ 政策研究デザイン					

・単位互換制度
・他研究科
・国内外の学術交流協定締結校